

平成22年度第3回広島県道徳教育研究協議会



平成23年2月10日
三次市立君田小学校 教諭 新田真由美

研究発表の流れ

1 研究の構想

2 研究の内容

3 研究の検証

4 おわりに

1 研究の構想

学校教育目標
自ら学び、心豊かで、
たくましく生きる児童の育成

めざす子ども像

かしこく、やさしく、たくましく伸びゆく子ども

1 研究の構想

昨年度の課題

- 友だちの考えを聞いてよく考えることや、価値交流が不十分である。
- 自分に自信が持てず、友だちとの人間関係を築くのが難しいと考えている児童がいる。
- 相手の立場に立って物事を考えたり、行動したりすることが難しい児童がいる。
- 保育所・小学校・中学校が連携した道徳教育の体制づくりが不十分である。

1 研究の構想

研究主題

自分自身を見つめ、共感する力を
育てる道徳教育の創造

サブテーマ

～「かかわり」を生かし、考え合う
道徳の時間の授業づくりを通して～

1 研究の構想

研究仮説

家庭・地域との連携を図りながら、かわりを生かし考え合う道徳の時間の充実と豊かな体験活動を取り入れた道徳学習プログラムを進めていけば、自分自身を見つめ、共感する力を育てることができるであろう。

1 研究の構想

○自分自身を見つめる

今の自分を受け止め、自分の特徴を知り、よりよい自分をめざして伸びようとする。

○共感する力

相手の視点に立って考えることのできる力。

○かかわりを生かし考え合う授業

思いを伝え合い、考え合うことを通して、ねらいとする道徳的価値に迫る授業。

- ・資料とのかかわり
- ・友だちとのかかわり
- ・先生とのかかわり
- ・自分とのかかわり
- ・地域保護者とのかかわり

検証の指標

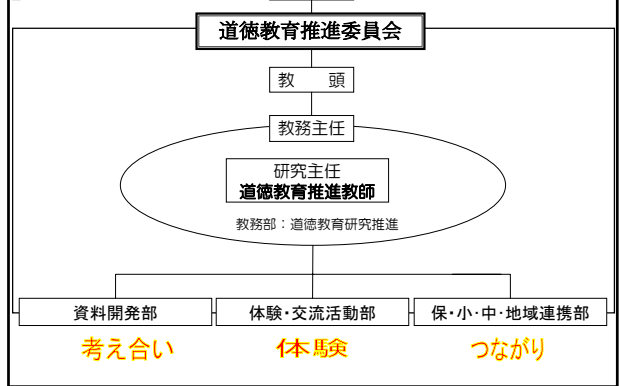
- | | |
|-----|---|
| (1) | ア 「道徳の時間」のアンケートの実施
イ 行動観察、日記、ワークシートなど
ウ 自作資料の開発 |
| (2) | ア 体験活動を取り入れた「ひまわりプログラム」の見直しと実践
イ 保護者・地域住民参加型授業の推進
ウ 自己肯定感・共感する力・地域意識についてのアンケートの実施と児童の変容の見取り |
| (3) | ア 保・小・中が連携した道徳教育の体制づくり
イ 保・小・中における道徳性発達上の課題の分析と「育てたい子どもの姿」の共有 |

1 研究の構想



1 研究の構想

【研究組織図】



2 研究の内容

【研究内容】

考え合い(資料開発部)

- 1 伝え合い、考え合うことを通してねらいとする道徳的価値に迫る道徳の時間の充実

体験(体験・交流活動部)

- 2 道徳実践の場として体験活動を取り入れた「ひまわりプログラム」の開発

つながり(保・小・中・地域連携部)

- 3 道徳性の段階的な発達を促す連携型道徳教育の体制づくり

2 研究の内容

考え合い (資料開発部)

- 1 伝え合い、考え合うことを通してねらいとする道徳的価値に迫る道徳の時間の充実



1 伝え合い、考え合う道徳の時間

道徳の時間の充実

- ・心をゆさぶる資料の選定と分析
- ・発問構成の工夫
 - 中心発問 → 基本発問 → 補助発問
- ・ねらいにせまるための手立てや支援
 - 導入、資料提示、終末、板書、時間配分

模擬授業による指導案検討

見直し・修正



『模擬授業による指導案検討の様子』

1 伝え合い、考え合う道徳の時間

資料提示の工夫



板書の工夫



1 伝え合い、考え合う道徳の時間

自分の考えをもつ

新たな考えをもつ



書く

他者との意見交流

自分の考えと比べあう



伝え合う 考え合う

1 伝え合い、考え合う道徳の時間

【自作資料】

- 1年「おおきなまつのき」
- 2年「おじいちゃんのひまわり畑」
- 3年「森が好き」（改作）
- 4年「神之瀬峡の自然を守る」
- 5年「風を切って世界をめざす」
- 6年「新堤の話」



『おじいちゃんのひまわり畑』板書

2 研究の内容

体験（体験・交流活動部）

2 道徳的実践の場としての体験活動を取り入れた「ひまわりプログラム」（道徳学習プログラム）の開発



① 体験活動を生かした「ひまわりプログラム」の開発

キラキラかがやけ！みんなのいのち（3年生）



①「君田の自然（川）を調べよう」（総合的な学習の時間）

②「どんぼの里」3-（2）（道徳）



④「君田の自然（千〇ウ）を調べよう」（総合的な学習の時間）

③「千〇ウをぞだてよう」（理科）

② 家庭や地域社会との連携（参加型授業の推進）

「流行おくれ」 1-（1）節度・節制（5年生）



② 家庭や地域社会との連携（参加型授業の推進）

「アルバムの中の学校」 4-（4）愛校心（4年生）



2 研究の内容

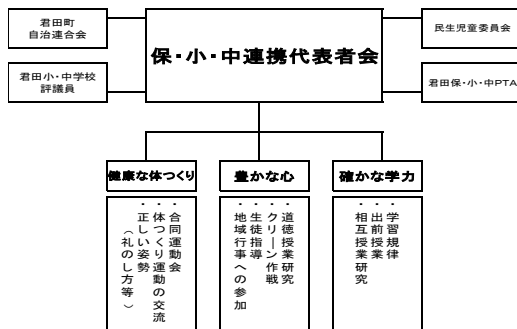
つながり(保・小・中・地域連携部)

3 道徳性の段階的な発達を促す連携型道徳教育の体制づくり



① 保・小・中が連携した道徳教育の体制づくり

君田保・小・中連携教育推進会議 組織図



① 保・小・中が連携した道徳教育の体制づくり

○ 保・小・中の指導者の価値観の共有化・相互理解

保育所・中学校からの授業参観



研究協議会への参加



① 保・小・中が連携した道徳教育の体制づくり

保・小・中連携代表者会

(1) 保・小・中の指導者の価値観の共有化・相互理解
 ↓
 合同研修会の実施
 (理論研修・授業研究等への参加)



(2) 保・小・中を見通した教育課程の編成

(3) 保・小・中の園児・児童生徒の交流

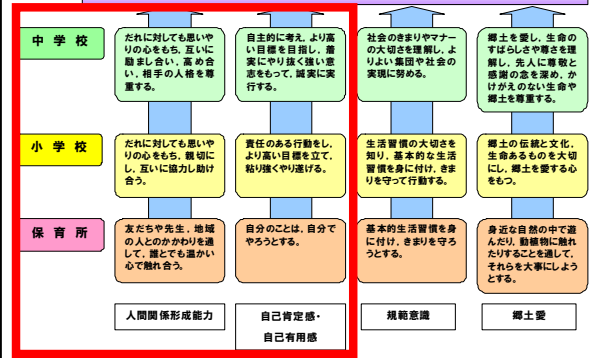
② 保・小・中における育てたい子どもの姿の共有

保・小・中における子どもの道徳性発達上の課題

(1) 学力面	(2) 生活面
○書いてある内容を読み取ったり、目的に応じて自分のことばで表現したりする力	○自分の思いを相手に伝えたり、相手の思いを聴いたりするコミュニケーションの力 (人間関係形成能力)
○自ら課題を見つけ、解決しようとする力	○自分の良いところを見つめ、自分に自信をもち、自分のよさを表現していく力 (自己肯定感・自己有用感)
	○きまりの大切さに気付き、きまりを守ろうとする力 (規範意識)
	○君田の地域の良さに気付く力 (郷土愛)

② 保・小・中における育てたい子どもの姿の共有

君田の地域に誇りをもち、自信をもって自ら歩む力を獲得していく子ども



③ 保育所との連携

みんななかよし 1ねんせい

主題名 親切な心 2-(2)
資料名 「はしのうえのおおかみ」

はしのうえのおおかみ
【道徳】



保育所の人となかよし
【生活科】



保育所の人と遊ぶ遊びを考えよう。
保育所の人と楽しそうだね。

どうぶつのはな
【国語科】

④ 中学校との連携

○異校種間の連携体制による指導の工夫

乗り入れ授業(小学校→中学校)



道徳の時間 「イチローの夢」1-(4)

出前授業(中学校→小学校)



算数の授業



6年生への中学校生活についての授業

④ 中学校との連携

小中合同読書集会 中学1年—小学3・4年生



今日はありがとうございました。
ぼくは、ことわざクイズが一番楽しかったです。なせかというとき、知らないことが多くあったので、さすが中学校一年生だと思いました。
ぼくも、このような読み聞かせができればいいな、と思います。

『児童の感想』

④ 中学校との連携

Road to中学生～見つけて伸ばそう自分のよさ～

運動会をふりかえろう
【学報活動】



夢をつかまよう！
【道徳】1-(2)

主題名 目標に向かって 1-(2)
資料名 「夢をつかまよう！」

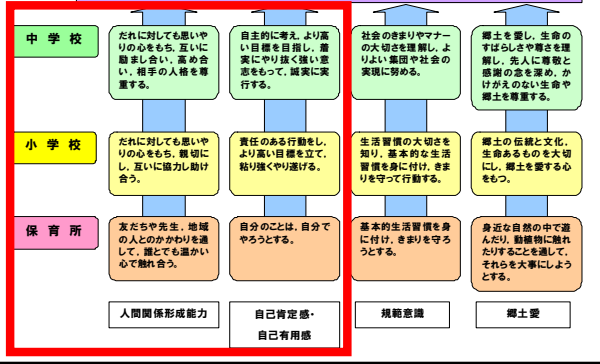
部活動見学【学報活動】



うまくなるためには、厳しい練習をしなくてはならないんだな。

②保・小・中における育てたい子どもの姿の共有

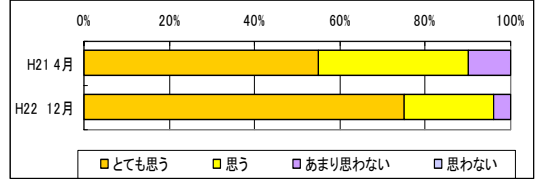
君田の地域に誇りをもち、自信をもって自ら歩む力を獲得していく子ども



3 研究の検証

1 「道徳の時間」について

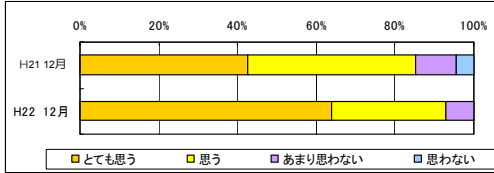
道徳の時間の勉強が好きだ



3 研究の検証

1 「道徳の時間」について

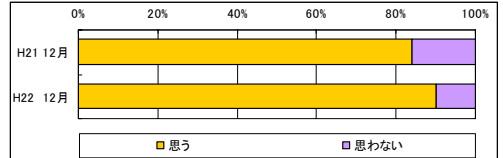
道徳の時間では、人の考えを聞いてよく考えている



3 研究の検証

2 自己肯定感について

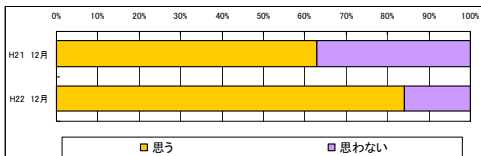
自分にはよいところがある



3 研究の検証

2 自己肯定感について

自分のよさは周りから認められている



3 研究の検証

2 自己肯定感について

『スマイルカードとノート』

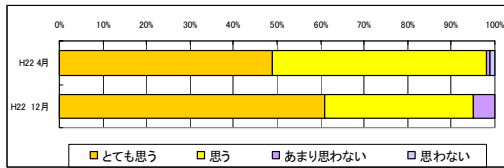


『すて木とすて木ボックス』

3 研究の検証

3 共感する力について

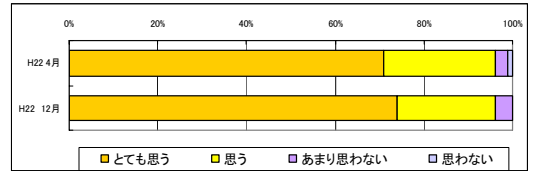
自分と違う意見や考えを受け入れ、相手の気持ちを考えることができる



3 研究の検証

4 地域意識について

君田町のために何かしたい



連携型道徳教育の成果

- 保・小・中の指導者の価値観の共有化・相互理解を進めるための体制づくりができた。
- 小中学校間での道徳の時間の指導法のよさを学びあうことで個々の授業改善につなげていった。
- 保・小・中における、道徳性発達上の育てたい子どもの姿を共通理解することができた。(系統表の作成)



連携して子ども達を育てていこうとする意識の高まり。

- 道徳の時間での学びが深まり、人間関係形成能力、自己肯定感、自己有用感が高まった。

連携型道徳教育の課題

- 体験活動を通して育てる道徳性のねらいを明らかにする。
➡ 相互に高まりあう授業づくり
- 自覚の高まった道徳的価値をつなげる活動を仕組む。
- 保・小・中連携代表者会議を充実させる。
- 12年間を見通した、道徳教育の充実に向け、さらに具体的な取組を行う。

4 おわりに

【 今後に向けて 】

- 伝え合い・考え合う道徳の時間の充実
- 地域・保護者参加型道徳教育の推進
- 連携型道徳教育の充実
- 児童の見取りと評価の方法

4 おわりに





ご清聴ありがとうございました